

本年度をもって定年を迎えられる先生から一つの節目として

ご挨拶とメッセージをいただきました

定年のご挨拶

昭和医科大学病院副院長 消化器内科 ^{よしだ ひとし} 吉田 仁 教授

昭和医科大学病院消化器内科診療科長を13年半、副院長を6年させていただき深謝ばかりです。当院にご来訪ご入院の患者さんを真心で診療させていただけるのは、患者さんや親近者や紹介者のご要望には適切・迅速と共に愛と誠実が不可欠であるからです。大学院生や助教や講師や医局長を経て今迄育てて頂いたのは、患者さんと本学のspirit、ご指導ご連携いただいた諸先輩方と同僚の方々のお蔭です。

消化器官を主体に様々な病態に学びを広げ患者さんと共に考え症候と病因を紐解き患者さんの役に立っているか自問を続けます。



昭和医科大学小口理事長、昭和医科大学病院相良病院長をはじめ数限りない多くの方々に育てていただき、生き甲斐をお与えいただきありがとうございました。消化器内科は患者さんも医師も多く、多忙になりがちなところ、日々多くの先生方、職員の方々に助けられております。

建学の精神「至誠一貫」を胸に、患者さんにはもとより、親近者、紹介者、職員の方々や学生さん達にも愛ある言行、診療、協力支援を実践し、チームワークを大事にしております。診療科長に主任教授、消化器センター長、副院長、総合サポートセンター長、ベッドコントロール室長、先端がん治療研究臨床センター長、がんゲノムセンター運営委員長、統括内科学講座責任者：Chairmanを務めてまいりました。十分な働きができていたとは思えませんが、甚だ微力ながら昭和医科大学病院における診療、教育、研究の一助にはなっているかと推測いたし、大変勉強になる充実した医師生活、そして、各役職医療人としての研鑽と経験を積ませていただきましたことに心より感謝申し上げます。

昭和医科大学病院、附属東病院が地域、就中本邦に於ける医療機関の真の拠り所へと発展できますよう強く願い心よりお祈り申し上げます次第です。

※記事見出しの色分けについて

病院だよりでは、見出しに色分けをすることで読者の皆さまが読みやすいよう工夫をしております。

黄色見出し：患者さん、患者さんのご家族向け

青色見出し：医療関係者向け

緑色見出し：医師の配属・異動・退職について

定年のご挨拶

昭和医科大学病院 泌尿器科

ふかがい たかし
深貝 隆志 教授

私は昭和大学医学部を卒業後、1986年4月より昭和大学病院に勤務し、当院を本拠として40年歩んでまいりました。留学・関連病院勤務、江東豊洲病院の立ち上げを経て、2021年からは診療科長を拝命しました。短い任期ではありましたが、大過なく務めを終えられたのも皆様のお力添えのおかげです。心より御礼申し上げます。退任後も特任教授として後進の指導に努めてまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。



～ 前立腺がんの早期発見と低侵襲治療への挑戦 ～

私は泌尿器科医として40年間、前立腺がん診療を中心に歩んできました。2000年代に入り血液検査(PSA)で早期発見が可能となり、その重要性を実感して2006年、地元医師会のご協力のもと品川区で前立腺がん検診を立ち上げました。さらに2011年からは当院で「ブルークローバーキャンペーン」と名付けたPSA無料検診を開始し、現在も毎年継続しています。治療では、低侵襲の放射線治療である小線源治療を2005年に導入し、江東豊洲病院と合わせて2000例以上を実施、国内有数の施設へと発展しました。また2013年には賛否の中、当院でロボット支援手術を導入し、より安全で体への負担の少ない手術の普及に取り組んできました。現在、ロボット支援手術が多くの診療科で当たり前のように行われているのは皆様もご存じの通りです。新しい医療を患者さんのために確実に根付かせる——それが私の医師人生でした。今後も前立腺がん診療には新しい診断・治療が次々と登場します。これからは後輩たちが挑戦を受け継いでくれることを期待しています。

定年のご挨拶

昭和医科大学病院 リハビリテーション科

かさい むみひと
笠井 史人 教授



1990年本学を卒業と同時に昭和大学病院に研修医として入職しました。1998年から20年間、他病院で修業を積んでから2018年にリハビリテーションセンター長として再び迎え入れていただきました。脳卒中や運動器疾患のリハビリはもちろんのこと、ICUやERでの早期介入、呼吸循環リハビリも国内屈指の実績を積むことができました。それらは多職種協働、チーム医療活動の成果であります。

この場を借りてスタッフの皆様に深く御礼申し上げます。

～ 「特殊」から「あたりまえ」への挑戦～

私は医師免許取得とともに、専門としてリハビリテーション医学の世界に飛び込みました。当時はまだ本邦の大学病院にはほとんどリハビリテーション科は存在していませんでした。もちろん治療方法としての理学療法、作業療法、言語療法は世界中の病院で行われており、すでに普遍的なものでありました。ただそれらをリハビリテーションという医療として専門的に行う診療科が確立されていなかったのです。

そして1992年当院の「リハビリテーション医学診療科」誕生に立ち会うことができました。ニーズは高いのに専門医師が「特殊」というアンバランスな分野を、エビデンス(科学的な根拠)に基づいた「あたりまえ」の専門診療科に育てることに尽力してまいりました。現在ではわが国の19基本診療科の一つとして高い注目を集める分野に成長しています。

母校の附属病院で、昭和医科大学のリハビリテーション医療と歩んで来られたことが私の誇りであります。

ご紹介

医学部教授 最終講義のご紹介

定年を迎える先生方の最終講義が開催されます。

本学の教育職員等関係者を聴講対象とさせていただきますが、この場を借りてご紹介させていただきます。

お問い合わせ先：

昭和医科大学

学事部学務課

TEL：

03-3784-8022

2025年度 昭和大学医学部教授会主催



医学部教授 最終講義

2026年 3月18日(水)

18:00～19:40

昭和医科大学 上條記念館1階
上條ホール

先生方の長年にわたる研究・教育・臨床の分野での多大なご貢献に心より敬意を表し、最終講義を開催いたします。皆様方におかれましてはご多用のことと存じますが、ご来聴くださいますようお願い申し上げます。

なお、花東贈呈は、代表者のみとさせていただきます、お願い申し上げます。

18:00 開会の挨拶 上條 由美 昭和医科大学 学長

18:05～18:45

「臍胆道を拓く試み
～愛ある消化器内科の一員より～」



吉田 仁 教授

(内科学講座 消化器内科学部門)

18:55～19:35

「前立腺癌とともに歩んだ泌尿器科医の40年
—臨床・研究・教育と国際交流の現場から—」



深貝 隆志 教授

(泌尿器科学講座)

19:35 閉会の挨拶 医学部長 小風 暁 教授

問い合わせ先

昭和医科大学学事部学務課 TEL 03-3784-8022
各演者所属教室

トピック

正面玄関飾りつけのご紹介



中央棟 1階正面玄関の飾りつけを行いました。
ご来院の際に、ぜひご覧ください。

【テーマ】 ひなまつり

今後も季節に沿って、飾りつけを変えていく予定です。



お知らせ

はたのだいがんサロン 開催のお知らせ

はたのだいがんサロンでは当院に通院する患者さんおよびご家族を対象として開催しております。サロンでは毎回専門スタッフによるセミナーを30分ほど実施した後、後半は患者さん及びご家族の情報交換の場として、ご参加いただいた方々が自由にお話しいただける歓談の機会を設けております。似た境遇にいる方同士でお話しをしていただくことで、少しでも不安や悩みの軽減につながればと考えております。

日時：

2026年3月17日（火）
15時00分～16時30分

場所：

昭和医科大学50周年記念館

参加費：

無料

※当院通院中のがん患者さん
とご家族のみ参加可能です。

※原則事前申し込み制となっ
ております。

お問い合わせ先

昭和医科大学病院 管理課

TEL：03-3784-8515

主催：昭和医科大学病院 はたのだい がんサロン

がん治療との付き合い方、 ひとりで悩んでいませんか？

手術や抗がん剤
治療への不安…

治療・お薬との
付き合い方は？

痛みや辛さを我慢
していませんか？

当院の医療スタッフや、 患者さん同士でお話ができます！

<講師・コメンテーター>

腫瘍内科 教授 堀池 篤

緩和医療科 准教授 横山 和彦

管理栄養士 町田 あゆみ

薬剤師 金 正興

他、がん相談支援センター スタッフ

2026年3月17日（火）

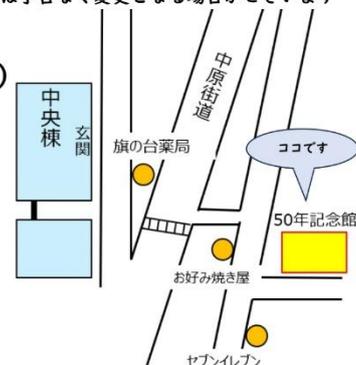
時間：15:00～16:30

場所：昭和医科大学50周年記念館(7号館)

お申込み方法：上記QRコードより事前
お申込み下さい

※予約なしでも当日参加できます！

※参加者は予告なく変更となる場合がございます



参加費無料！
事前登録にご協力ください

【参加事前登録用URL】



問い合わせ先：昭和医科大学病院管理課 03-3784-8515
※事前予約数により、延期となる可能性がございます。

トピック

エマルゴコース研修を開催しました

2月21日（土）昭和医科大学病院・附属東病院にて、「エマルゴコース研修」を開催いたしました。

エマルゴコース研修とは、人形や医療材料を模したグッズを用いた机上災害訓練です。

今回は、院内の教育職員33名と、全国から集まっていたいただいたインストラクターの方々とともに行なわれました。

訓練では、震度6の地震が発生し、その影響により、大井町駅付近で京浜東北線の脱線衝突事故が起こるという想定で行われました。

本研修は、自分の所属部門以外の部署の動きを経験することができます。参加者の事後アンケートでは、「災害時に必要な情報、共有すべき情報について理解が深まりました。」「他部署との連携方法や必要性が理解できた。」などの感想が多くあがりました。

地域の災害拠点病院として、災害発生時には的確かつ迅速な対応が求められるため、今後もこのような災害訓練を行ない、災害対策の意識を高めてまいります。



トピック

当院行事食のご紹介

当院での食事は、医師の指示により病状にあった献立とし、行事食を取り入れた温かい食事を提供しております。3月は「ひな祭り」を予定しております。今後も季節に合わせた行事食をご提供してまいりますので、ご紹介いたします。

※写真は過去のものです。



当取り組みは、昭和医科大学病院・附属東病院において関係職種間での行動（臨床に関する事項）を相互にプラス評価することにより、関係部署との連携を良好にし、**チーム力を高めること**で患者さんにより良い医療を提供することを目的としております。

リハビリテーション室から臨床工学室へのありがとう！



臨床工学室 高森さんへ

輸液ポンプ・シリンジポンプ・AED の使用方法について指導いただいた。

【患者さんに与えた良い影響】

リハビリ臨床場面で、安全に患者対応ができています。



臨床工学室 臨床教員 園部さんへ

オープンキャンパス参加者が、本大学に入学したいと感じる対応ができた。

【患者さんに与えた良い影響】

患者本位の臨床家を育成できるよう入学者拡大につなげている。



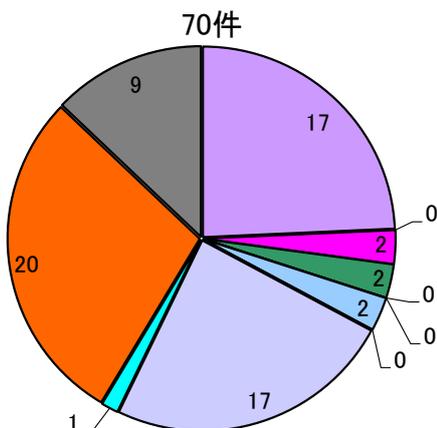
日頃よりチーム医療にご協力いただきありがとうございます。
今後ともよろしくお願ひいたします。



患者さんのご意見・ご要望

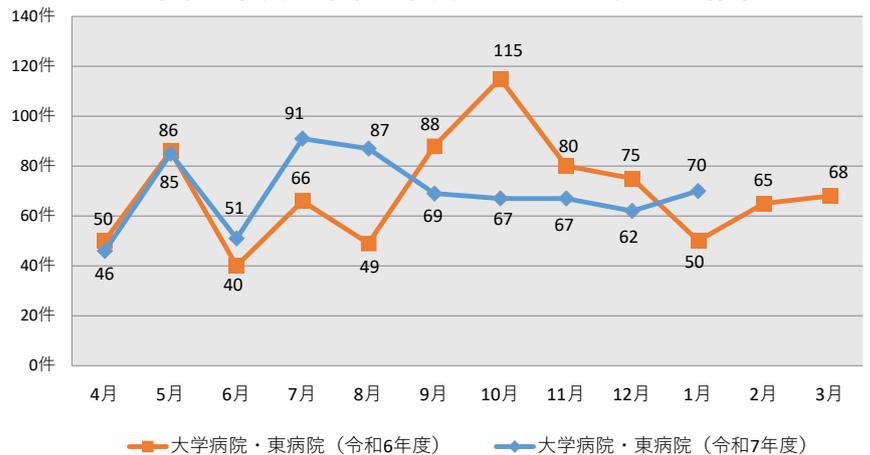
<p>健診時からお世話になりました先生、助産師の皆様、また、分娩の時の麻酔科の方々、本当にありがとうございました。優しい声がけやはげましていただきとても幸せなお産になりました。</p>	<p>この度は、感謝のお言葉を頂きありがとうございました。安心して出産、入院生活を過ごしていただけたようで私たちも嬉しくなり、医師・スタッフと共に共有いたしました。今後もお母さんたちの思いに寄り添ったケアを行ってまいります。</p>	看護部
<p>加湿器を置いて欲しい。</p>	<p>この度は入院生活に関する貴重なご意見をお寄せいただき、誠にありがとうございます。加湿器の設置につきまして、ご不便をおかけし誠に申し訳ございません。医療現場では衛生管理上、十分な消毒や清掃が難しいため、病室の加湿器設置は控えておりますが、空調の調節にて対応させていただきました。今後も患者さんにより快適にお過ごしいただけるよう改善に努めてまいります。</p>	管理課

令和8年3月号掲載分
ご意見・ご要望の内訳
昭和医科大学病院・東病院総件数



- 態度・接遇
- 診療内容
- 予約
- 待ち時間
- 面会時間
- 食事
- 会計システム
- 売店
- 環境(清掃・設備備品・エレベーター)
- 環境(駐車場)
- 感謝
- その他

令和6年度・令和7年度ご意見・ご要望の推移



異動

附属施設から

(令和8年3月1日付) ●リウマチ・膠原病内科 相羽 萌子

附属施設へ

(令和8年3月1日付) ●麻酔科 萩原 有彩 ●小児科 井出 夏都



退職

(令和8年2月6日付) ●産婦人科 塩崎 なつの

(令和8年2月7日付) ●眼科 川村 淳紀

(令和8年2月28日付) ●産婦人科 高橋 華子 ●乳腺外科 島田 雅之

編集後記

臨床検査室 わたなべ 渡邊 さとし 聡

桃の節句を過ぎ、桜の開花が待ち遠しく寒さが和らぐ頃ですね。

そろそろ春のお彼岸ですが、お供え物は春の牡丹にちなんだ「ぼたもち」が一般的です。

肉、魚、五辛は殺傷や香りが強すぎるため、また棘のある花は棘が争いを連想させるため、不適切とされています。

ご先祖様を敬う心を持ち、お墓参りや日頃の感謝を伝えてみてはいかがでしょうか。

年度末で何かと忙しい時期ではございますが、皆様の心にも温かい春が訪れますようお願いしています。



昭和医科大学病院

検索



昭和医科大学病院附属東病院

検索

発行 昭和医科大学病院、東病院

発行責任者 昭和医科大学病院長 相良 博典

編集責任者 広報委員長 山岸 昌一

〒142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8

TEL: 03-3784-8000 (代表)

昭和医科大学病院・附属東病院の理念

- ・患者本位の医療
- ・高度医療の推進
- ・医療人の育成

昭和医科大学病院・附属東病院の基本方針

- ・患者さんと共にチーム医療を実践する。
- ・特定機能病院及び地域の基幹病院として高度急性期医療を推進し、質の高い医療を提供する。
- ・教育病院としての機能を充実し、質の高い医療人の育成を行う。
- ・人間の尊厳及び人権を守りつつ、高度な臨床研究を実践する。

※記事見出しの色分けについて

病院だよりでは、見出しに色分けをすることで読者の皆さまが読みやすいよう工夫をしております。

黄色見出し：患者さん、患者さんのご家族向け

青色見出し：医療関係者向け

緑色見出し：医師の配属・異動・退職について